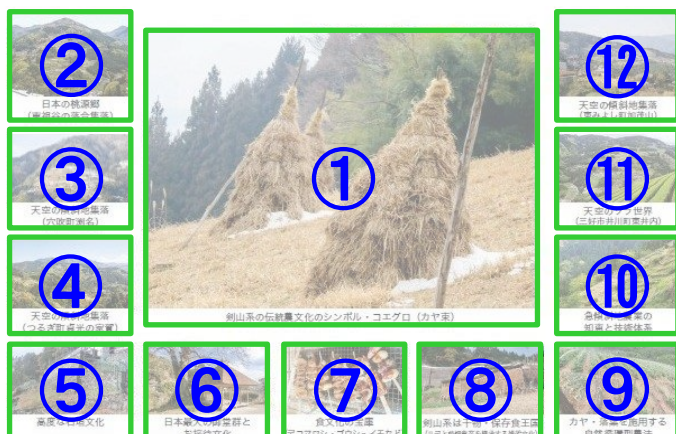


「徳島剣山系の伝統的な傾斜地農業」の世界農業遺産登録（2016年）へ

「カレンダーの写真概要説明」 <http://www.awa-nougyoisan.jp/>



①	剣山系の伝統農文化のシンボル・コエグロ（カヤ束）	伝統的に肥場（カヤ場）と呼ぶ採草地を確保し、秋に剣山系の伝統農文化のシンボル「コエグロ」（カヤ束）を作り、そのカヤを春に傾斜畑に投入し、土壌流出を防止する。傾斜畑にカヤを敷く意味は、持続的な施肥効果、雑草防止、保水力、保温力、地下の生物多様性の保全など多岐にわたる。「コエグロ」の完成作品を見れば、「ソラ世界」の人々の美意識が感じられ、それは云わば芸術作品「Japan Koeguro Art」なのである。
②	日本の桃源郷（東祖谷の落合集落）	標高450～840mに開けた集落が、国選定重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。三好市のソラ世界の代表である。上部からカヤ場、畑地、民家が織りなす風景が素晴らしい。秋になればハデにアズキやソバが干される。中心部に「三所神社」が祀られ、社叢は県指定天然記念物となっている。信仰場に「薬師堂」がある。
③	天空の傾斜地集落（穴吹町湊名）	標高250～550m付近に開けた集落である。榎巨樹と「佐条堂」がシンボルとなる。山上付近に天上の山里世界が展開し、等高線農業やカヤを施用した伝統農業が展開している。穴吹町の最重要サイトである。
④	天空の傾斜地集落（つるぎ町貞光の家賃）	「ソラの世界」の代表格となる大規模傾斜地集落である。標高150～550m付近、標高差約400mの大集落で、周囲を森林に囲まれ、山上部に涵養林を残し、下部に天上の山里世界が広がっている。昔より100軒余りの民家、カヤ場、畑地が交互に織りなす独特なソラ景観が広がっている。
⑤	高度な石垣文化	片理性の高い結晶片岩の性質を利用し、傾斜度を緩めるため地勢に応じ石垣を積み傾斜地農業を成立させている。石垣技術は、傾斜地集落全体の農地配置や保全・文化・利水に大きく関わっている。
⑥	日本最大のお堂群とお接待文化	剣山系の人々を精神的に支え、村落共同体の一体感や相互扶助システムを深化させる役目をもつのが「御堂」であった。剣山系の御堂は、日本に前例のない美的農村景観を形成している。集落に一つ以上の御堂が要所に置かれ、情報交換、相互扶助、共通理解、先祖供養、豊穣祈願の場となり、護摩炊き、大師講、数珠回し、堂の口明け、お接待など様々な集いを通じ、相互扶助体制や一体感を高めた。
⑦	伝統的食文化の宝庫（デコマワシーゴシュウイモなど）	剣山系には、焼畑農業を継承する農作物を基調とする食文化が息づいている。加えて、豊かな山菜・薬草・野菜・果樹・茶類、狩猟による猪・鹿などの食文化、鮎・アメゴ・沢蟹などの川魚類、保存食文化が相まって、多彩な食文化、多様な郷土料理の宝庫となっている。
⑧	剣山系は干物・保存食王国（ハデ文化と焼畑農業を継承する雑穀文化）	剣山系は「干物王国」（保存・健康食王国）であり、卓越した伝統的な危機管理システムが今でも機能している。「干す」意味は、水分を抜くことで長期保存が可能となり、「天日干し」することで、日本食特有の素材がもつ甘味や旨味（アミノ酸）が濃くなり、栄養価が増す。また、「逆さ干し」することで、一層養分がいきわたり、標高が高いため抗酸化力も強くなる。干すために必要な農文化が「ハデ」である。
⑨	カヤを施用する「自然環境型農法」	剣山系では、[カヤ]（穂が出る前はススキ）を主とした有機物を大量に施用する伝統農業が、化学肥料を投入する近代農業が席卷する現在でも、広範囲な地域で続けられている。剣山系の傾斜地農業は、焼畑農耕時代からの発展的な継承技術で、カヤを毎年刈り、繰り返し再生させ、施肥や屋根材に使用し、農作物や山菜を収穫するという古代からの知恵を受け継いだ自然循環を切らない持続型の伝統農業なのである。
⑩	伝統の急傾斜地農業の知恵と技術体系	剣山系の傾斜地集落における傾斜畑の傾斜度は、最大30度を超える。そこで持続的に傾斜地農業を営むには、土壌流出を防ぐ高度な知恵と技術が肝要で、剣山系では一応にカヤを施用する農文化が見られる。その他、多種多様な土壌流出を防止する技術と知恵が見られ、傾斜地集落自体が多様な技術・知恵の集合体となっている。
⑪	天空のソラ世界（三好市井川町東井内）	井内谷川下流東岸の正夫より南に谷を一つ隔てた標高約200～600m付近の西面に開けた集落が、北から順に大久保・下久保・大森、倉石、松舟などである。急傾斜地で栽培される茶を中心に、棚田、畑地、果樹畑、カヤ場、民家が交互に展開し、カヤを施用した伝統農業が営まれている。
⑫	天空の傾斜地集落（東みよし町加茂山）	標高300～600m付近に開けた大規模な集落である。高地の特性を生かし、雨除け等を使用した大規模な春夏野菜の栽培が盛んである。カヤを施用した伝統農業と近代農業の併用が行われている。「薬師堂」が信仰の中心である。